

令和5年度1月例会報告

- 日時 令和5年2月1日（水）
- テーマ 新春「市川七福神」を巡る
- 集合場所 京成市川真間駅
- 集合時間 9時00分
- 参加者 30名
- 距離 20キロ
- 解散 15時45分（JR西船橋駅）
- 案内役 リーダー : 伊香賀 泰之
サブリーダー : 武関 玉城
: 浦壁 信彦

■コース

①市川真間駅→②須和田公園（朝礼）→③下総国分寺（毘沙門天）→④所願寺（恵比寿天）→⑤大柏川調整池緑地（昼食）→⑥妙正寺（福祿寿・寿老人）→⑦奥之院（弁財天）→⑧安養寺（布袋尊）→⑨JR西船橋駅（解散）

3年越しの七福神巡り

1月例会は、寒波到来に伴い、1週順延の2月1日（水）に開催されました。順延した甲斐があり、当日は絶好の天候となりました。今回は、おめでたい七福神巡りですから、気持ちよく歩きたいものです。当日は、順延したにも関わらず、30名の皆さんが参加してくれました。実は、この市川七福神巡り、過去2年連続でコロナの影響により中止となり、3年越しの開催となりました。3年分お詣りさせていただきますので、たくさんの福をお願いいたします！！

ご夫婦で参加

今回、特にうれしかったのはご夫婦で参加されたカップルがいらっしまったことです。筆者も長く歩こう会に参加していますが、ご夫婦で参加されたケースは初めてです。奥様は昨年から参加されていましたが、ご主人が参加されたのは今回が初めて。ここで、まことに失礼ながらご夫婦の会話を再現。奥様「あなた！ 腰の具合が悪いって言って、最近、運動してないけど、だめよ！ 佐倉歩こう会は運動不足にとってもいいわよ。今回は縁起のいい七福神巡りだし、健康のためにも一度参加してみなさいよ！！」ご主人「え～、歩こう会！ 何キロ歩くの？」奥様「19キロだけど、途中で抜けることもできるわよ。」

ご主人「自信ないけど、運動不足にいいなら、一度参加してみようかな。」
ご夫婦の会話、筆者の勝手な想像です。私も妻を誘って一緒に歩きたいと思うのですが、昔気質の人間なもので、一緒に歩く姿が想像できません。なんか照れくさいですね！
今回のご夫婦、うらやましいかぎりです！！

立っている恵比寿天？！

少し違和感があったのが、2番目に訪れた所願寺の恵比寿天。
恵比寿天は七福神の中で、唯一、日本の神様です。
日本の国を造ったイザナギ、イザナミの子どもと言われており、生まれつき足が悪かったので、毎日、海辺で釣りをしていたそうです。釣り棒を持ち、鯛を抱えて座っているのが一般的なお姿ですが、ここ所願寺の恵比寿天は釣竿を持ってなく（前に立てかけてありました）、立っているのです。足が悪いはずの恵比寿天が立っているなんて、ちょっとびっくりでした。



所願寺の恵比寿天

延命長寿の七福神

寿老人と福祿寿は中国の神様ですが、妙正寺では、なんと二つの神様が一緒に並んでいます。寿老人はその名の通り、延命長寿の神様。福祿寿は、福と祿と寿の名が示すように、福と財をもたらし、長寿までであるという大変縁起のいい神様です。
この縁起のいい二つの神様が並んで祀られているなんて、こんな好都合なお寺はありません。二つの神様に共通するご利益は延命長寿です。
人生100年時代と言いますが、ここでお詣りすることにより、120歳まで生きられるかもしれません。



妙正寺の寿老人と福祿寿

布袋様に夫婦円満を誓う

奥之院で6つ目の七福神である弁財天をお詣りし、最後の難関である安養寺に向かいます。途中、京成中山駅で帰られる方もいらっしゃいましたが、もったいない！！

最後に到着した安養寺には、布袋尊が祀られていました。

布袋尊は中国の神様で、唯一、唐の時代に実在した僧侶がモデルとなっています。

お姿は、太鼓腹で大きな袋を背負っているのですが、この袋、福袋と言って、たくさんの福が入っているそうです。ただ、ここでは、布袋尊は夫婦円満の神様だという話をさせていただきました。

実は、背負っている袋は、堪忍袋だという説があるんです。特に夫婦の不平不満が、この袋の中に詰まっているそうです。堪忍袋の緒が切れるという言葉がありますが、そうなると大変！！世の中、夫婦円満でいられるのは、この布袋尊がしっかりと堪忍袋の緒を締めてくれているからだそうです。(あくまで一説ですが・・・)

わが家も例外ではありませんが、しっかりと堪忍袋の緒を締めておくこと、夫婦円満の秘訣です。堪忍袋の緒が切れないよう、布袋尊をお願いしておきました。



安養寺の布袋尊に夫婦円満を誓う

今回、距離も長く、最後まで歩くには厳しいコースでしたが、七福神巡りは最高でした。
なんと言っても1日で7つの神様にそれぞれ違う願いをし、これが全部かなえられれば、
これからの人生はバラ色間違いなしです！

七福神の神様、どうか今日お願いしたこと、全部かなえてください！！（報告 伊香賀）